

新総合体育館の実施設計が完成

豊科南部総合公園を南側に拡張して整備を進めている新総合体育館建設の実施設計が2月末に完成します。令和3年10月完成を目指して、本格的な工事に着手します。今月号では実施設計の概要を紹介いたします。固総合体育館建設推進課総合体育館建設推進係（TEL 71・2006 FAX 72・1340）

いよいよ本格的な工事が始まります！



鳥観イメージ図



外観イメージ図

4つの設計コンセプト

1. スポーツの拠点となる体育館

メインアリーナは主要な競技の競技規則を満たす規模とし、大規模な大会の会場として利用できる施設とします。1,004席（車いす用8席を含む）の観客席を設置し、イベント時には仮設席も合わせて最大約2,000席での利用が可能です。

2. 安曇野らしい体育館

外観は、高さを抑えた緩やかな曲面の大屋根とし、北アルプスの山並みに呼応した良質な景観を形成する施設としています。また、屋内のアリーナやエントランスホールには市内産木材を活用し、ぬくもりある安曇野らしい空間としています。

3. 市民交流を促す体育館

スポーツ利用者だけでなく、誰でも気軽に利用しやすいよう、ラウンジやロビー等の市民の憩いの空間を整えます。

4. 安全・安心な体育館

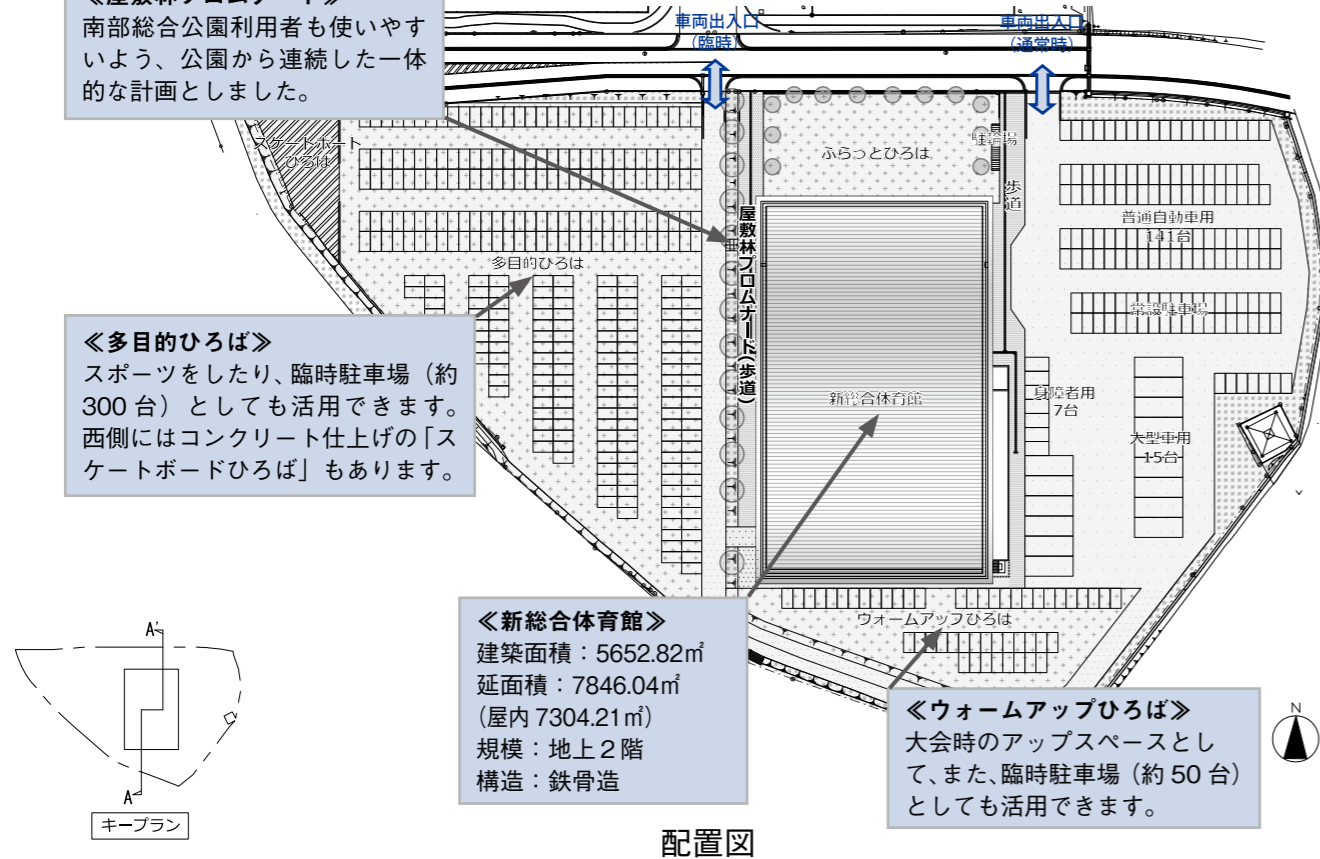
わかりやすいアプローチ・ゾーニングにより使いやすい施設としています。また、災害時には指定避難所として、一定期間避難生活を行うことのできるよう、防災機能を備えた施設としています。

《屋敷林プロムナード》
南部総合公園利用者も使いやすいよう、公園から連続した一体的な計画としました。

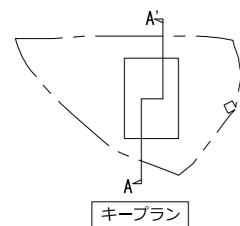
《多目的ひろば》
スポーツをしたり、臨時駐車場（約300台）としても活用できます。西側にはコンクリート仕上げの「スケートボードひろば」もあります。

《新総合体育館》
建築面積：5652.82㎡
延面積：7846.04㎡
（屋内7304.21㎡）
規模：地上2階
構造：鉄骨造

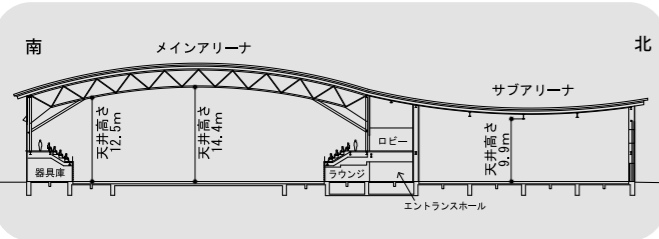
《ウォームアップひろば》
大会時のアップスペースとして、また、臨時駐車場（約50台）としても活用できます。



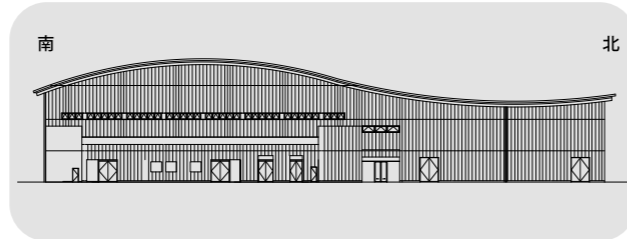
配置図



キープラン



A-A' 断面図



立面図（東面）